

SUN サンライト LIGHT

VOL.
9

10周年記念
特集号

発行日 平成5年12月
発行所 筑波聖崎霊園
所在地 茨城県稲敷郡聖崎町吉里560
電話 0296-78-3880



筑波聖崎霊園 開園10周年によせて



聖崎町町長
石川 玄蔵

筑波聖崎霊園開園10周年にあたりお慶び申し上げます。筑波聖崎霊園は当町北部の若菜地区に昭和54年より、地元地権者の皆さんの協力により建設が始まり、56年の12月に開園されました。当町はもとより茨城県南部でも初めての本格的な公園墓地です。

墓地というと一般的には好ましい施設とは言いがたく、生活に不可欠ではありませんが、身近には敬遠されがちです。筑波聖崎霊園は開園以来、明るい雰囲気を保ち、緑化や花壇の整備に力を入れておられます。

近所の住民の方々の散策や子供たちの遊び場としても親しまれています。もちろん町民の聖地として既に多くの町内の皆様にも利用されていると伺っております。

また数年前より同霊園によって建設された付属つけば牡丹園は、三千本を超える牡丹・芍薬等が植えられ、季節にはテレビ、ラジオ、新聞等のマスコミに取りあげられ、町の新しい観光資源の一つとして、今年の4～5月には5万人を超える観光客を集め、聖崎町を新たに町外の方々に知っていただくきっかけにもなっています。

牡丹園と同時期に整備されたホール内のギャラリーには、陶磁器を中心とした常設展が公開され、我国でも有数の陶器の産地として有名な茨城県にふさわしい展示が行なわれています。

ギャラリー入口にはチャリティボックスが設置され来場者の善意が町の社会福祉基金に寄せられ、町としても、霊園と霊園利用者、ギャラリー見学者の皆様からご協力をいただき大変感謝しております。本紙をお貸りして御礼申し上げます。

このように筑波聖崎霊園は花と緑を大切にし、文化的事業にも努力され、かつ、ご来園の方々の思いやりの心を町の福祉に届けられるなど、当町の町民憲章を具現化する事業を続けてこられました。

10年という歳月は、決して短いものではありませんが、お墓というものは利用する人々各々の家の大事な歴史のシンボルであり精神の寄り拠です。未来水劫にわたるものです。これからも、町にとっても益々有意義な施設として発展されることを念願しております。